

2026 年度

明海大学大学院

応用言語学研究科

博士前期課程 B 日程

専門科目試験問題

**注 意 事 項**

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
- 2 応用言語学に関する小論文は全員が解答してください。
- 3 日本語に関する専門知識・英語に関する専門知識・中国語に関する専門知識は、1 題を選択して解答してください。

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	英語に関する専門知識

下記の問題から2問を選択し、日本語で解答しなさい。

- (1) 英語における成節的子音(Syllabic consonant)について、例を挙げて説明しなさい。
- (2) 動詞 sneeze は自動詞であり、次のAは非文ある。しかしBはsneezeを他動詞として用いていながら適格文である。なぜBの文が可能だと考えられるか説明しなさい。  
A) \*Mary sneezed the tissue.  
B) Mary sneezed the tissue off the table.
- (3) 総合的言語(synthetic language)と分析的言語(analytic language)の違いを、具体的な言語の例を用いて説明しなさい。
- (4) 次の例文に見られる前置詞 over の多義性について説明しなさい。  
(ア) The plane flew over the hill.  
(イ) The student walked over the hill.  
(ウ) The student lives over the hill.
- (5) ロシアの心理学者ヴィゴツキーが提唱した概念、Zone of Proximal Development (発達の最近接領域) について言語発達の例を挙げて説明しなさい。
- (6) 動詞句前置(VP-preposing)を、英語の例文を用いて説明しなさい。
- (7) アメリカの文化人類学者エドワード・T・ホール(1976)が提唱した「高コンテキスト文化」と「低コンテキスト文化」について説明しなさい。
- (8) スティーブン・クラシェンが提唱した第二言語習得理論、「affective filter (情緒フィルター)」について英語教育からの例を用いて説明しなさい。